

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2013年10月号

10月に入り、台風の接近、被害はなかったでしょうか。
すっかり秋の気候となりました。季節の変わり目、お体にお気をつけください。

税金の使い道は、暮らし・福祉最優先に 平成24年度決算に反対討論



9月市議会後半は、平成24年度大分市歳入歳出決算の審査がおこなわれました。福間議員は、日本共産党を

(9月27日、反対討論する福間) 代表して、決算全体会、本会議で、反対討論をおこないました。他会派はオール賛成でした。

●平成24年度一般会計決算額は、約19億2千万円の黒字です。

歳入の特徴は●歳入に占める自主財源が前年より4,2%低下し、依存財源が前年より、4,2%増加していること。

●歳入の市税の内の個人市民税は前年度より、10億4,578万9千円(4,9%)増加。年少扶養控除の廃止等が主な要因です。固定資産税は前年より3,2%低下していますが市民・子育て世帯に重い負担となっています。

●市債残高(借金)は、市民1人当たりは約40万1千円一般会計で1,911億2,073万1千円と、前年度に比べ51億3,426万4千円と増加。要因はホルトホール大分整備事業費です。

歳出の特徴は●歳出の款別構成比では、民生費、教育費、公債費が低下し、土木費が増加しています。①大分駅南土地地区画整理事業、企業立地促進助成金など大型事業推進、大企業優遇。②行財政改革による収集運搬業務、調理業務など80名の職員削減(約6億2千万円)。③運動団体への高額な補助金など不公平な同和対策事業。④保険料が大幅

値上げされた国保・介護・後期医療の特別会計決算などに反対しました。

以下6点の要望をおこないました。

①大工場地区の固定資産税の評価を見直し新たな財源確保を。②再生可能エネルギーへの転換で「原発ゼロ」を後押しすること。③住宅リフォーム助成制度の創設。③国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の負担軽減。④保育所待機児童解消など子育て支援の拡充。⑤小中学校の統廃合計画中止、普通教室へエアコン設置を。⑥市民・職員犠牲の行財政改革は見直すこと。

大分県・市へ新年度予算要求書提出



(県・総務部長室にて)

国保広域化、県工事負担金について、要望させていただきました。

10月4日、党県委員会、党県議団、地方議員団で申し入れをおこないました。私は、障がい者医療費の現物給付。



(大分市役所第2応接室にて)

10月11日には、大分市に72項目の要望書を、川畑地区委員長が申し入れ文を読み上げ、右田副市長に手渡しました。

暮らし・地域の問題など

ご意見・ご要望をおよせください。

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

